



## 平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成26年2月6日

上場会社名 株式会社イマジカ・ロボット ホールディングス  
コード番号 6879 URL <http://www.imagicarobot.jp>

上場取引所 東

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 長瀬 朋彦

問合せ先責任者 (役職名) 取締役 常務執行役員 経営企画本部 担当 (氏名) 角田 光敏

TEL 03-6741-5742

四半期報告書提出予定日 平成26年2月7日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第3四半期の連結業績(平成25年4月1日～平成25年12月31日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第3四半期	36,152	△0.7	1,196	△12.7	1,296	△11.3	1,035	215.1
25年3月期第3四半期	36,396	△0.5	1,369	△36.2	1,462	△32.5	328	△74.7

(注) 包括利益 26年3月期第3四半期 1,399百万円 (229.0%) 25年3月期第3四半期 425百万円 (△68.3%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第3四半期	24.38	—
25年3月期第3四半期	8.29	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
26年3月期第3四半期	39,339	25,865	65.0
25年3月期	39,101	24,973	63.4

(参考) 自己資本 26年3月期第3四半期 25,571百万円 25年3月期 24,792百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
26年3月期	—	0.00	—		
26年3月期(予想)				15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年 3月期の連結業績予想(平成25年 4月 1日～平成26年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	52,000	4.2	2,100	4.4	2,200	5.0	1,200	131.3	28.25

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有  
 詳細は、添付資料4ページ[2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用]をご覧ください。
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無  
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無  
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無  
 ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	26年3月期3Q	44,531,567 株	25年3月期	44,531,567 株
② 期末自己株式数	26年3月期3Q	2,059,465 株	25年3月期	2,059,465 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	26年3月期3Q	42,472,102 株	25年3月期3Q	39,642,926 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料4ページ「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

## 添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 .....	4
四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 .....	4
3. 四半期連結財務諸表 .....	5
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	7
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	7
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間 .....	8
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(セグメント情報等) .....	9
(重要な後発事象) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

#### 当第3四半期連結累計期間の概況

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、政府の経済政策の効果が下支えする中で、景気の回復基調が続くことが期待されているものの、海外景気の下振れが引き続きわが国の景気を下押しするリスクとなっております。個人消費においては、実質雇用者所得と消費マインドがともに底堅く推移する中、一部に消費税引き上げに伴う駆け込み需要もみられ、増加傾向が続いております。

このような環境の下で、当社グループは、映像ビジネスにおいて幅広い事業展開を行っており、グループ一丸となって、経営ビジョンに掲げております「映像コミュニケーションにおける新たな価値創造」に向けて、グループの総合力を発揮し、収益力及び財務体質を強化することに取り組んでまいりました。

これらの結果、当第3四半期連結累計期間における当社グループの業績につきましては、売上高は361億52百万円（前年同四半期比0.7%減）、営業利益は11億96百万円（前年同四半期比12.7%減）、経常利益は12億96百万円（前年同四半期比11.3%減）、四半期純利益は10億35百万円（前年同四半期比215.1%増）を計上いたしました。

#### セグメント別の業績

##### 1) 映像技術サービス事業

テレビ番組、CM制作分野を中心としたポストプロダクション作業におきましては、テレビCM関連作業の大手制作会社からの受注は堅調に推移しましたが、中小得意先からの受注が依然低調に推移したことに加え、テレビ番組関連の受注においても、主力のバラエティ番組の受注が減少したことにより、厳しい状況となっております。映画分野におきましては、DCP（デジタルシネマパッケージ）のコピー作業の受注が堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は114億85百万円（前年同四半期比7.7%減）、営業利益は9億25百万円（前年同四半期比31.2%減）となりました。

##### 2) 映像ソフト事業

広告制作におきましては、全般的に受注が低調に推移し、売上高・営業利益ともに前年同四半期を下回りました。一方コンテンツ制作におきましては、制作及び出資を行いました、映画「カノジョは嘘を愛しすぎてる」及び「永遠の0」が昨年12月に公開されたほか、NHKの「タイムスクープハンター・年始スペシャル」の制作を受注し堅調に推移いたしました。イベント映像関係では、3Dプロジェクションマッピングの映像制作において、常設案件を受注するなど堅調に推移いたしました。

なお、当事業セグメントにおいてアニメーションを主とした映像作品の企画ならびにプロデュースを提供しておりました、株式会社ジェンコの保有全株式を譲渡したため、同社は第1四半期連結会計期間より当社の連結対象から除外いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は75億26百万円（前年同四半期比24.4%減）、営業利益は17百万円（前年同四半期比96.9%減）となりました。

### 3)放送事業

放送分野におきましては、「イマジカBS」「歌謡ポップスチャンネル」「FOODIES TV」の3チャンネルを運営しております。「イマジカBS」は、加入者数の微増が続いております。当チャンネルは本年1月1日より「イマジカBS・映画」とチャンネル名称を変更いたしました。また「歌謡ポップスチャンネル」は、ケーブルテレビの加入者数及び広告収入が増加し、堅調に推移しております。またホテル事業におきましては、工事案件を受注するなど堅調に推移いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は40億29百万円（前年同四半期比7.2%増）、営業損失は46百万円（前年同四半期は営業損失3億68百万円）となりました。

### 4)映像システム事業

イメージング分野におきましては、主力の高速度デジタルビデオカメラの販売は、国内・海外ともに受注案件が堅調に推移し、前年同期の実績を上回りました。プロ用映像機器分野におきましては、放送局への大型案件の受注を確保することができ、前年同期の実績を上回りました。またCADソリューション分野におきましても、最新CADシステム製品の販売が引き続き好調に推移し、業績に大きく貢献いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は76億52百万円（前年同四半期比22.0%増）、営業利益は9億14百万円（前年同四半期比120.1%増）となりました。

### 5)人材コンサルティング事業

人材派遣・請負サービス分野におきましては、主力の派遣事業では、主にWeb職種やゲームエンタテインメント職種を中心に派遣稼働者数が純増したことにより堅調に推移いたしました。映像技術者の人材派遣におきましては、派遣稼働者数及び作業単価が増加したことで、前年同期の実績を上回りました。コンテンツ制作受託の分野におきましては、ゲーム制作受託を中心に受注を獲得したことにより堅調に推移いたしました。

また、当期首より株式会社コスモ・スペースが、第2四半期首より株式会社イマジカ角川エディトリアルが当社グループに加わり当セグメントに属しましたが、人材派遣事業を中心に業績が堅調に推移し、当セグメントの売上規模拡大に貢献いたしました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当該事業分野の業績は、売上高は82億54百万円（前年同四半期比25.5%増）、営業利益は2億53百万円（前年同四半期比5.8%減）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### 資産

流動資産は、前連結会計年度末に比べて15百万円（0.1%）増加し、252億17百万円となりました。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて2億22百万円（1.6%）増加し、141億22百万円となりました。

これらの結果、総資産は、前連結会計年度末に比べて2億38百万円（0.6%）増加し、393億39百万円となりました。

### 負債

流動負債は、前連結会計年度末に比べて7億64百万円（6.8%）減少し、104億4百万円となりました。

これは主に、前受金の減少、支払手形及び買掛金の増加によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1億10百万円(3.7%)増加し、30億69百万円となりました。

これらの結果、負債合計は、前連結会計年度末に比べて6億53百万円(4.6%)減少し、134億74百万円となりました。

#### 純資産

純資産に関しましては、前連結会計年度末に比べ8億91百万円(3.6%)増加し、258億65百万円となりました。

これは主に、四半期純利益の計上による増加、及び配当金の支払による減少によるものであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成26年3月期通期連結業績予想につきましては、平成25年5月9日に公表しました前回発表値から変更はございません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

#### 税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,125,809	10,022,444
受取手形及び売掛金	9,046,122	7,778,424
たな卸資産	5,076,985	5,543,733
繰延税金資産	847,936	880,372
その他	1,145,482	1,021,826
貸倒引当金	40,409	29,398
流動資産合計	25,201,926	25,217,402
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	11,633,298	11,746,728
減価償却累計額	8,420,920	8,646,599
減損損失累計額	201,105	187,693
建物及び構築物(純額)	3,011,272	2,912,435
機械装置及び運搬具	20,295,190	18,971,763
減価償却累計額	18,937,060	17,674,748
減損損失累計額	275,679	228,489
機械装置及び運搬具(純額)	1,082,450	1,068,525
土地	2,995,964	2,997,730
建設仮勘定	39,539	184,268
その他	3,227,106	3,330,172
減価償却累計額	2,236,719	2,396,446
減損損失累計額	36,763	34,933
その他(純額)	953,623	898,792
有形固定資産合計	8,082,850	8,061,752
無形固定資産		
ソフトウェア	450,085	501,310
のれん	77,672	20,797
その他	131,803	51,493
無形固定資産合計	659,560	573,602
投資その他の資産		
投資有価証券	3,002,038	3,354,076
関係会社株式	160,300	239,966
敷金及び保証金	786,228	813,609
繰延税金資産	842,219	818,596
その他	502,290	392,437
貸倒引当金	135,985	131,602
投資その他の資産合計	5,157,092	5,487,082
固定資産合計	13,899,503	14,122,437
資産合計	39,101,430	39,339,840

(単位:千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成25年12月31日)
<b>負債の部</b>		
<b>流動負債</b>		
支払手形及び買掛金	3,743,529	3,948,188
短期借入金	2,010,050	2,008,214
未払金	908,351	1,039,463
未払法人税等	206,461	256,848
賞与引当金	859,195	430,110
受注損失引当金	30,000	138,632
その他	3,411,447	2,583,494
<b>流動負債合計</b>	<b>11,169,037</b>	<b>10,404,951</b>
<b>固定負債</b>		
長期未払金	429,076	375,132
繰延税金負債	517,864	600,986
退職給付引当金	1,544,161	1,715,884
その他	468,019	377,735
<b>固定負債合計</b>	<b>2,959,120</b>	<b>3,069,739</b>
<b>負債合計</b>	<b>14,128,158</b>	<b>13,474,691</b>
<b>純資産の部</b>		
<b>株主資本</b>		
資本金	3,244,915	3,244,915
資本剰余金	14,414,513	14,414,513
利益剰余金	6,842,526	7,281,864
自己株式	51	51
<b>株主資本合計</b>	<b>24,501,904</b>	<b>24,941,241</b>
<b>その他の包括利益累計額</b>		
その他有価証券評価差額金	452,717	718,077
土地再評価差額金	17,933	17,933
為替換算調整勘定	143,999	70,329
<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>290,785</b>	<b>629,814</b>
少数株主持分	180,582	294,092
<b>純資産合計</b>	<b>24,973,271</b>	<b>25,865,148</b>
<b>負債純資産合計</b>	<b>39,101,430</b>	<b>39,339,840</b>



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
四半期連結損益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位:千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
売上高	36,396,807	36,152,327
売上原価	26,444,100	25,826,928
売上総利益	9,952,707	10,325,398
販売費及び一般管理費	8,583,114	9,129,113
営業利益	1,369,593	1,196,285
営業外収益		
受取利息	14,377	2,743
受取配当金	51,645	98,580
持分法による投資利益	-	19,331
関税還付金	46,757	-
その他	78,189	57,151
営業外収益合計	190,970	177,806
営業外費用		
支払利息	8,600	9,579
為替差損	47,859	56,223
上場関連費用	26,548	-
その他	14,988	11,671
営業外費用合計	97,997	77,474
経常利益	1,462,566	1,296,616
特別利益		
固定資産売却益	7,013	289
関係会社株式売却益	-	229,257
その他	-	51,561
特別利益合計	7,013	281,108
特別損失		
固定資産売却損	5,257	14,053
固定資産除却損	101,929	11,440
減損損失	696,692	-
その他	121,452	10,674
特別損失合計	925,332	36,168
税金等調整前四半期純利益	544,247	1,541,557
法人税等	177,164	481,482
少数株主損益調整前四半期純利益	367,083	1,060,075
少数株主利益	38,394	24,440
四半期純利益	328,688	1,035,634

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益	367,083	1,060,075
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44,469	265,359
繰延ヘッジ損益	376	-
為替換算調整勘定	13,276	73,669
その他の包括利益合計	58,123	339,029
四半期包括利益	425,206	1,399,104
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	386,811	1,374,664
少数株主に係る四半期包括利益	38,394	24,440

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

前第3四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像技術サ ービス	映像ソフト	放送	映像システ ム	人材コンサル ティング	計		
売上高								
外部顧客への売 上高	12,062,468	9,935,928	3,751,725	6,139,843	4,488,390	36,378,356	18,451	36,396,807
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	385,795	23,918	6,515	132,668	2,089,130	2,638,028	2,638,028	
計	12,448,264	9,959,847	3,758,240	6,272,512	6,577,520	39,016,384	2,619,576	36,396,807
セグメント利益又 は損失( )	1,344,430	548,765	368,366	415,423	269,591	2,209,844	840,251	1,369,593

(注) 1.セグメント利益又は損失( )の調整額 840,251千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に係る損益632,443千円及びセグメント間取引消去 1,472,695千円であります。

2.セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「映像技術サービス」セグメントにおいて、フィルム関連事業の固定資産について、減損損失を計上しております。

なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては547,676千円であります

また、各報告セグメントに配分していない全社資産について、減損損失を計上しております。

当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては117,680千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

重要な変動はありません。

当第3四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年12月31日)

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント						調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	映像技術サ ービス	映像ソフト	放送	映像システ ム	人材コンサル ティング	計		
売上高								
外部顧客への売 上高	11,198,220	7,445,362	4,017,113	7,412,191	6,075,606	36,148,494	3,833	36,152,327
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	286,839	80,726	12,632	240,199	2,178,919	2,799,316	2,799,316	
計	11,485,059	7,526,088	4,029,745	7,652,391	8,254,526	38,947,811	2,795,483	36,152,327
セグメント利益又 は損失( )	925,279	17,145	46,455	914,375	253,924	2,064,269	867,984	1,196,285

(注) 1.セグメント利益又は損失( )の調整額 867,984千円は、持株会社(連結財務諸表提出会社)等に  
に係る損益404,899千円及びセグメント間取引消去 1,272,883千円であります。

2.セグメント利益又は損失( )は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

該当事項はありません。

(のれんの金額の重要な変動)

重要な変動はありません。

(重要な負ののれん発生益)

「人材コンサルティング」セグメントにおいて、当社の連結子会社であります株式会社イマジカデ  
ジタルスケープが、株式会社コスモ・スペースの発行済株式の80%を取得し子会社化したことによ  
り、負ののれんが発生しております。当該事象による負ののれんを一括償却したことにより、当第3  
四半期連結累計期間において負ののれん発生益45,183千円を計上しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。